

2017年4月3日

各位

日立工機株式会社
執行役社長 前原修身

グローバルリーダーを目指すセカンド・ステージに向けて

本年1月13日に公表いたしました、米投資ファンドのコールバーグ・クラビス・ロバーツ（以下「KKR」といいます）傘下のHKホールディングスによる当社株式の公開買付け（以下「本公開買付け」といいます）に関しましては、おかげさまで多くの株主様のご賛同が得られ、成立したことを3月23日に発表いたしました。日立製作所が本公開買付けに応募したため、当社の親会社はHKホールディングスになりました。2017年度より当社は、1948年の創立以来約70年にわたり日立グループの一員であったファースト・ステージから、KKRという新たなパートナーとグローバルリーダーの一角を目指すセカンド・ステージに突入してまいります。

時の流れとともにさまざまな変化が起こり、それに対応するため企業も柔軟に変革することが求められています。当社事業を取り巻くグローバルでの熾烈な競争に勝ち抜くためには、先達が築いた過去の遺産に甘えることなく、時代の変化に対応した自己変革を断行すべきと考えています。

現在当社は、抜本的構造改革、イノベティブな競争優位製品の開発推進、北米の大手ホームセンターLowe's社との戦略的提携、昨年3月に子会社化したメタボ社とのシナジー最大化などを通じ、2018年度中期経営計画の達成に向けて邁進しております。これまでの各種取り組みが奏功しおかげさまで業績は上り調子となっておりますが、さらにその成長を加速するためには、現状に甘んじることなく、Sustainable disruption（既存概念の破壊）の気概を持って、今こそ「自主独創」を念頭に新たな挑戦をするとき、と考えています。

新パートナーとなったKKRは、創立40年以上の世界有数の総合資産運用会社であり、ニューヨーク証券取引所に上場しています。現在約120社に投資しており、これまでグローバルで50件以上、大企業からの子会社の切り離しや独立支援の実績を有しています。投資哲学としては、投資先経営陣とのパートナーシップに基づく長期的な視点での投資を掲げており、優れた事業基盤及び潜在力を持つ企業のパートナーとなって、KKRの持つ様々なリソース、ネットワークを活用することで、業界のリーディング・カンパニーの創造を目指している会社です。

当社グループには、HITACHI、metabo、CARAT、SANKYOなど、さまざまなブランドがあります。当面これらのブランドは何も変わることなく、これまで同様のビジネスを継続してまいります。当社の持つ優れた技術開発力と、世界各国の投資先企業において改革を成功に導いてきたKKRの持つM&A支援力や資金力などを掛け合わせ、当社の事業成長基盤を強化することで、グローバルで厳しい競争が続く電動工具業界や遠心機業界を勝ち抜くとともに、数年後の再上場を見据えて新たなステージでの持続的成長を成し遂げていく所存ですので、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上